

ぼうさいこくたい2021に出展します

11/6(土) - 11/7(日)

岩手県釜石市 釜石市民ホール TETTO
出展会場: 1F ギャラリー P59

財団の活動と、イベント「World Bosai Walk TOHOKU+10」についてご紹介します。
本企画では、東日本大震災から10年の節目の年に、福島県いわき市から青森県八戸市にかけて復興の様子をレポートしながら歩きます。パネル展示、チラシ配布、動画を通してイベントの概要をご紹介します。



World BOSAI Walk Tohoku+10 防災ウォークの延期につきまして



世界防災フォーラムでは、東日本大震災から10年の節目である2021年に、東北の「より良い復興(Build Back Better)」の取り組みを世界中に発信するため、福島から青森まで実際に歩いて復興に取り組む人々の生の声を聞き、発信したいと考え、今回初めて40日間の徒歩の旅を企画しました。東北の方々、復興を支援して下さった方々、防災に関心を持つ国内外の方々などに、オンラインかつ多言語で東北の「より良い復興」や魅力を発信することで「防災(BOSAI)」の普及に繋がるよう、今回のウォークイベントを企画していたところです。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大によって、当初予定していた9月・10月に実施することは困難であると判断しました。一方で、11月現在、新型コロナウイルスの感染拡大が収束に向かっていくことから、事務局では来年2月から4月(日付未定)にかけて再始動すべく準備に取り掛かっているところです。本企画の情報発信は世界防災フォーラムHPやSNSで行っておりますので、ご注目のほどよろしくお願いいたします。

NEW!



**SNSで最新情報を
発信しています！
是非フォローください！**

▶ 動画がアップロードされました！



被災後 経営を再開された 民宿「前川」女将さんにインタビュー

東日本大震災に被災し全壊した岩手県釜石市の「民宿前川」。2014年に民宿は高台へ移転し営業を再開しました。今回は女将の前川さんに経営再開までの道のりについて、弊財団代表理事の小野が伺いました。

SNS・動画はこちらから
アクセスください



worldbosaiforum.com

世界防災フォーラム



ぼうさいこくたい 2021 出展にあたって

今回「ぼうさいこくたい」が行われる釜石には、先日 World Bosai Walk Tohoku +10（防災ウォーク）の下見として一泊二日の日程でお邪魔しました。残念ながらイベント自体はコロナの影響で延期となってしまいましたが、訪問では仕事といつつも、自然と美味しい料理を楽しませていただきました。

初日には、いのちをつなぐ未来館様にお邪魔し、防災ウォーク当日に実施予定のフィールド見学の打ち合わせを実施しました。とても若い方々が運営や語り継ぎを精力的に行なっているのが印象的でした。若い方のお話は貴重です。同世代にもきっと響くと思います。

「釜石ラーメン」を昼食にいただき、午後は「根浜海岸レストハウス」にお邪魔しました。ここはキャンプやウォーターアクティビティが家族でも楽しめるスペースです。こちらでバーベキューをいただきながら地元の方々と交流を深める企画（いわゆる飲み会）を目論んでいましたが、残念ながらまたのお楽しみになってしまいました。キャンプスペースも十分余裕をもって設定されており、プライベートでもお邪魔したいところです。



宿泊は民宿前川さんにお世話になりました。こちらは大槌湾に面した高台に立つ宿です。震災で被災し、ゼロからの再建になりましたが、3年後に営業を再開したとのこと。夕食はウニ、ホヤ、各種お刺身を中心に季節もの食べきれないほどいただきました。（わんこそば100杯を完食した副事務局長もギブアップ）特に、ホヤは海のパイナップルと呼ばれているそうですね。今まではどこか！？と思っていましたが初めて納得できました。日本酒がなかったのが残念です。こんなにリーズナブルな値段で経営していたら大変なことになってしまうのでは？と要らぬ心配をしてしまいましたが、漁師の旦那さんが毎朝漁に出て収穫した海の幸を、その日の晩に女将が調理してお客様に召し上がっていただいているということでした。

翌朝はご無理をお願いして旦那さんの船に乗せていただきました。決して疑っていたワケではありませんが、自分の目で確かめてまいりました。前日仕掛けた刺し網を引き上げると、カレイなどの大量の漁獲がありました。震災からの再建は想像できないくらいのご苦労があったと思いますが、10年でここまで復興した前川さん、また鶴住居の皆さまのお力にただただ敬服するばかりです。（復興について詳しくはYouTubeをご覧ください）



さて、ようやく本題の「出展にあたって」ということですが、以前、復興に携わっていたソフトバンクの方のお話を伺う機会がありました。復興のお手伝いをすることは、永きに渡り、地域のものを買って、食べて、訪問する、これが大事とおっしゃっていました。私達も防災を広めたい、財団のアピールをしたい、ということで今回「ぼうさいこくたい」に出展させていただいております。しかし、それ以上に釜石を応援したい！という想いからというのが本音かもしれません。今回もこのような企画があったおかげで釜石にお邪魔できて本当に感謝しています。

みなさまもこの「ぼうさいこくたい」を機会に釜石を訪れて、釜石をこれからも応援してみたいでしょうか？きっと素晴らしい学びと体験ができると思います。

世界防災フォーラムとは

世界防災フォーラムは、スイスの防災ダボス会議と連携し、国内外から産・官・学・民の防災関係者が集まる日本発の国際市民フォーラムです。東日本大震災を経験した東北の地で、災害で悲しむ人をこれ以上増やしたくないという願いを込めて始めました。

これからも、世界の防災フォーラムというグローバルな仕掛けにより、SENDAIからBOSAIを世界に広げ、被災地の復興に寄与し、東北を世界の防災の中心にしたいと考えております。ゆくゆくは参加者を数千人規模に発展させ、防災分野における卓越した国際フォーラムとして、世界のオピニオンリーダーになることを目標としています。

寄付のお願い 世界防災フォーラムの活動は、皆さまからのご寄付によって支えられています。

個人の方

一人ひとりのご支援が、東北、日本から世界にBOSAIを伝え、世界中の人たち災害から命を守る行動を助けます。ぜひ皆様のあたたかいご支援お待ちしております。よろしく申し上げます。いただいたご支援は、世界防災フォーラム開催のような事業や日々の私たちの運営費に活用されます。

法人の方

お金だけでなく、ものやサービス、人材協力、アイデアなどのご提供、WBFの広報活動やファンドレイジング活動へのお手伝いも大歓迎です。いただいたいろいろなご支援を考慮して以下のようなリターンを考えております。一回開催される世界防災フォーラムへのご出席や、ご講演の場のご提供、貴社での社内教育やイベントへの協力、貴社の防災ビジネスやネットワーキングのお手伝いなど。ご興味のある法人様は事務局までご連絡いただければ幸いです。

ご寄付はこちら。

